

■目標指標

基本目標	目標指標	現状値		最終目標値	目標値	実績値	目標値	実績値
		令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和8年度 (2026年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和6年度 (2024年度)
「人と地域がきらめく 文化の薫るまち」	1年間に1回以上文化を鑑賞したことがある市民の割合	76.8%	49.8%	80.0%	73.0%	82.3%	75.0%	75.4%
	1年間に1回以上文化活動を行ったことがある市民の割合	27.7%	22.0%	33.0%	27.0%	29.0%	29.0%	20.3%
	鑑賞、活動があると回答した市民のうち、その場が宇部市内等である割合	—	—	85.0%	70.0%	75.3%	75.0%	89.3%

■活動指標

施策	活動指標	現状値		最終目標値	目標値	実績値	目標値	実績値
		令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和8年度 (2026年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和6年度 (2024年度)
施策1 文化活動の活性化	記念会館・文化会館延べ来場者数	144,808人	42,779人	167,000人	112,000人	93,136人	130,000人	38,283人 ※文化会館は休館中
	芸術祭延べ参加者数(出演者及び出品者)	2,374人	754人	3,000人	1,950人	1,965人	2,300人	1,601人
	芸術祭鑑賞者数(入場者及び観覧者)	25,961人	3,123人	30,000人	18,750人	8,600人	22,500人	5,366人
	アートコミュニケータ活動者数(累計)	—	33人	80人	50人	79人	60人	98人
	アートマネージャー活動者数(累計)	42人	52人	100人	70人	63人	80人	80人
施策2 「UBEビエンナーレ」からひろがる “まち・ひと・アート”	「UBEビエンナーレ」に対する市民の理解度	—	73.0% (R3数値)	80.0%	76.0%	83.9%	77.0%	81.6%
	彫刻教育実施回数	—	30回 (R3数値)	40回	34回	47回	36回	46回
施策3 文化施設の整備・充実	文化会館の耐震及び長寿命化改修	—	改修設計(一部完了) (R3現状)	改修完了	改修工事	改修工事	改修工事	改修工事
	渡辺翁記念会館の保存活用計画の策定	—	未着手 (R3現状)	策定に伴う 空調改修	計画中間報告	計画中間報告	計画策定・申請	計画策定・申請
施策4 文化財の保存・活用	文化財を活用したイベント等の参加者数	—	13,000人 (R3数値)	15,500人	14,000人	16,000人	14,500人	15,000人

施策1 文化活動の活性化

施策1-(1) 文化活動の推進

No	主な取組	2024年度 取組実績	2025年度 取組計画
1	宇部文化連盟との協働による宇部市芸術祭を開催することにより、市民の文化活動の発表の場を確保します。	宇部文化連盟との共同主催により、展示、舞台、文芸、総合の各部門を実施した。 ●展示部門：6行事（出品者数330人、入場者数2,077人） ●舞台部門：7行事（出演者数702人、入場者数2,382人） ●文芸部門：1行事（出品者数402人、入場者数70人） ●総合部門：1行事（出演者数167人、入場者数837人）	宇部文化連盟との共同主催により、展示、舞台、文芸、総合の各部門を実施する。 ●展示部門：6部門（予定） ●舞台部門：7部門 ●文芸部門：1部門 ●総合部門：1部門
2	宇部市文化創造財団等との連携により、音楽公演をはじめとした良質な公演等の文化事業を開催します。	■宇部市文化創造財団の主催事業 ●舞台8公演 （宮沢・上妻・塩谷、宇崎竜童、小原孝、第九、HY、ふるさとワクワク劇場、トリオ・エスパス、新川寄席） （集客率51%（入場者数5,070人/座席数9,970席）） ■宇部市文化創造財団の共催事業 ●舞台4公演 （阪田知樹、銭天堂、HIMARI & 吉田恭子、こども寄席） （集客率44%（入場者数2,281人/座席5,240席）） ※座席数は1階800席、2階510席で算定	著名なアーティストを招聘し、幅広い年代が楽しめるクラシック系、ポップス系、古典芸能等の公演を、主催又は共催で実施する。 ●財団主催公演 6本程度 ●市内文化団体等との共催公演 4本程度
3	文化行事への後援などを通じて団体等が実施する文化活動を支援するとともに、各助成財団等の助成金情報など提供します。	■市民文化活動への支援 市内の文化活動4団体が実施する事業に対し、計26万円を助成した。 ①「能楽群舞」宇部華友会発表会 ②子どものためのコンサート ③宇部市民オーケストラ演奏会 ④宇部吹奏楽団演奏会	市内の文化活動団体が企画・制作し、多くの市民が参加できる文化事業の開催を助成により支援する。
4	アーティストの滞在型創作活動（アーティスト・イン・レジデンス）を推進し、市民とアーティストとの交流を促進します。	UBEビエンナーレ彫刻の丘において、第30回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)実物制作指定作品の搬入や現地制作を公開するなど、市民が作家を身近に感じられる場を提供した。	実施予定なし。
5	在留外国人などに対し、文化事業の鑑賞や体験の機会を提供し、多文化共生の取組を推進します。	第30回UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）鑑賞ツアー「やさしい日本語ツアー」を開催した。 宇部市文化創造財団多文化共生イベント「渡邊祐策翁物語を体験しよう！」を後援した。	多文化共生の推進を目的として、引き続き、在留外国人等に対する文化事業の鑑賞や体験機会の創出に取り組んでいく。
6	関係機関と連携し、渡辺翁記念会館や都市型ホテルを会場とした大型の文化事業やコンベンションなどを誘致します。	宇部観光コンベンション協会と連携し、コンベンション誘致活動を実施した。 ●スポーツ関連施設：バスケットボール、テニス、野球大会 6件 ●山口大学工学部：学会 2件 ※文化会館は2024年から改修工事のため閉館、ANAクラウンプラザホテルは2024年3月31日で営業を終了したため、2024年度は実績なし。	コンベンション開催助成金を活用し、引き続き宇部観光コンベンション協会と連携したコンベンション誘致に取り組んでいく。
7	市内の文化団体・活動者の協力を得ながら、子どもたちが伝統文化等を体験できる機会として「子ども文化夢教室」を各小学校で開催します。	市内小学校12校で、子ども達が伝統文化等を体験できる「子ども文化夢教室」を開催した。 ●日本舞踊：参加3校（138人） ●俳句：参加2校（79人） ●ダンス：参加3校（170人） ●声楽・ピアノ：参加3校（179人） ●ミュージカル：参加1校（104人）	市内小学校で、子ども達が伝統文化等を体験できる「子ども文化夢教室」を開催する。

8	小・中学生の文化体験活動の一環として、市内外の専門家から直接指導を受けるワークショップ型の教室を開催します。	<p>■「小・中学生箏曲振興事業」 UBE箏キッズ会員19人に対し、年間22回のワークショップを開催するとともに、市内7か所で市民等に演奏を披露する機会を提供した。</p> <p>■「子ども夢チャレンジ事業」 市内の中学校5校約600人が参加し、声楽家・ピアニストによるオペラの鑑賞やステージ上でのオペラ体験などを実施した。</p> <p>■「子ども伝統文化わくわく体験学校」 市内の文化団体の指導により、多様な伝統文化を子どもたちが学び、体験できる機会を提供した。</p> <p>●華道：参加19人（開催44回） ●詩吟：参加7人（開催14回） ●日本舞踊：参加5人（開催6回） ●箏曲：6人（開催5回） ●囲碁：参加7人（開催6回）</p>	「小・中学生箏曲振興事業」、「子ども夢チャレンジ事業」、「子ども伝統文化わくわく体験学校」を開催する。
9	障害のあるなしに関わらず参加や鑑賞ができる文化事業を企画・開催します。	■宇部市文化創造財団自主事業等において、障害者の鑑賞支援のための介助者への無料チケット配付や財団発行イベントガイド等の点訳を実施した。	■宇部市文化創造財団自主事業等において、障害者の鑑賞支援のための介助者への無料チケット配付や財団発行イベントガイド等の点訳を実施する。
10	経済的に不安を抱える世帯の子どもたちなどを対象に、文化事業に触れる機会を創出する「社会包摂事業」を実施します。	宇部市文化創造財団において、「私のあしながおじさんプロジェクトin宇部」事業で、企業・団体・個人から寄付を募り、夏休み期間中に子ども課外クラブを開催した。 ●琴部：11人 ●ピアノ部：5人 ●ダンス部：22人	宇部市文化創造財団において、「私のあしながおじさんプロジェクトin宇部」事業で、企業・団体・個人から寄付を募り、夏休み期間中に子ども課外クラブ（琴・ピアノ・ダンス）を開催する。
11	音響や映像・舞台芸術などに携わる市内事業者等と連携して、音楽公演などを積極的に開催することで、地元の文化関連産業を支援します。	宇部市文化創造財団自主事業等において、音響や舞台関係業務を市内事業者に委託し、地元関連産業を支援した。	宇部市文化創造財団自主事業等において、音響や舞台関係業務を市内事業者に委託し、地元関連産業を支援する。
12	ポストコロナ社会における「新たな日常」への対応のため、オンライン配信や文化事業における非接触化などを支援します。	宇部市文化創造財団において、オンライン配信を希望する主催者へ技術的な支援を行った。	宇部市文化創造財団において、オンライン配信を希望する主催者へ技術的な支援を行う。
13	本市にゆかりある映画監督やアーティストによる、映画・アニメーション・音楽などの文化を市内外にPRするとともに、次世代に引き継ぎます。	■令和6年10月から令和7年1月にかけて、本市出身の庵野秀明氏が総監督を務めた作品『エヴァンゲリオン』シリーズとコラボレーションした企画「まちじゅうエヴァンゲリオン」第4弾を実施した。	引き続き、「まちじゅうエヴァンゲリオン」第5弾を展開し、本市にゆかりのアニメ等を通じた観光誘客促進や地域経済活性化を図っていく。

施策1-(2) 文化・アート人材の育成

№	主な取組	2024年度 取組実績	2025年度 取組計画
14	人・アート・場所をつなぎ、新しい価値と創造的なコミュニティによるまちの発展に向け、アートコミュニケーター（うーぱー）の育成とアート活動を支援します。	<p>■アートコミュニケーターのアートを介した実践活動を支援した。</p> <p>活動7回中、2回は雨天中止</p> <p>活動者数（累計）19人</p>	アートコミュニケーターのアートを介した実践活動を支援する。
15	うーぱー（3年任期）修了生が、それぞれの地域や職場・団体などで、自主的にアートによるコミュニティ活動を行うことを支援します。	アートコミュニケーターによるアートを介したコミュニティを育み、誰もがフラットに参加できる場づくりと新たな価値観を発信する活動を支援した。	アートコミュニケーターによるアートを介した実践活動を支援する。
16	うーぱー及び修了生の活動拠点の設置を支援します。	活動拠点の文化会館は休館中のため、宇部市文化創造財団事務所を活動拠点として提供する支援を行った。	宇部市文化創造財団事務所を活動拠点として提供する。
17	茶華道・書道・短歌・俳句・俳画・絵画・演劇・日本舞踊などの伝統文化に携わる後継者の発掘・育成を支援します。	<p>■「子ども文化夢教室」において、日本舞踊・俳句の講座を開催した。</p> <p>■「小・中学生箏曲振興事業」において、ワークショップを開催するとともに発表の場を提供した。</p> <p>■「子ども伝統文化わくわく体験学校」において、華道、詩吟、日本舞踊、箏曲、囲碁を学び、体験する機会を提供した。</p> <p>■「子ども課外クラブ」において、琴を鑑賞体験するワークショップを開催した。</p>	「子ども文化夢教室」や「小・中学生箏曲振興事業」、「子ども伝統文化わくわく体験学校」、「子ども課外クラブ」において、伝統文化の講座等を開催する。
18	文化活動団体や宇部市文化創造財団と連携して、アートマネージャー養成講座を開催し、文化と市民・社会をつなぐアートマネジメントを実践できる人材を育成します。	人と人、人と文化、人と地域をつなぐアートマネジメントを実践していくことのできる人材を養成するため、座学と実技のアートマネージャー養成講座を計画したが、講師の体調不良により、開催を中止した。	アートマネージャー養成講座を実施する。
19	アートマネージャーが主体となった、文化事業の開催を支援します。	<p>養成講座卒業生「Seeds of Joy」によるコミュニケーションワークショップの活動を支援した。</p> <p>●宇部西高等学校●福祉サロンiikotoメイト●宇部くるみ園</p>	社会包摂事業として、「Seeds of Joy」による福祉施設等でのコミュニケーションワークショップの活動を支援する。

施策2

「UBEビエンナーレ」からひろがる“まち・ひと・アート”の推進

施策2-(1) UBEビエンナーレの推進

No	主な取組	2024年度 取組実績	2025年度 取組計画
20	「UBEビエンナーレ」をこれからも継続的に開催していくため、彫刻だけでなく多様なアートにも触れる機会の創出を図ります。	ときわ湖水ホールアートギャラリーで多様なアートの企画展を開催した。 ●第29回UBEビエンナーレ柳原義達賞受賞記念展 「藤沢恵 melting border」 第29回展で柳原義達賞を受賞した藤沢恵の展覧会 ●7/19～8/25「夏の美術室2024」 「素材とかたち からだであそぼう」をテーマとした様々なワークショップ ●10/18～12/15「彫刻世界 かたち・つくり・ひらく」 UBEビエンナーレを通じて築いてきた室内彫刻による展覧会 ●2/7～3/23「向井良吉と《世界地図から》」 《世界地図から》のアイデアスケッチとして制作されたコラージュ作品20点のほか関連資料の展示会	ときわ湖水ホールアートギャラリーで多様なアートの企画展を開催する。 ●4/26～6/29「馬場良治展 ～四季 飄飄～」 「四季」をテーマに描いた馬場良治作品の展覧会 ●7/18～8/24「夏の美術室2025」 身体を使った体験やものづくりの様々なワークショップ ●10/10～3/1「Why? 彫刻 vol.2」 宇部の彫刻展の変遷をたどる資料・出品作品・模型の展示会
21	市民と協働したアートイベントの拡充を図り、市民とともに作るビエンナーレを目指します。	アートコミュニケーターの企画による絵画コンクールの表彰式をUBEビエンナーレのオープニングで開催した。	野外彫刻展の開催なし。
22	「UBEビエンナーレ」の会場については、ときわ公園だけでなく、中心市街地等での開催も検討します。	協議検討の結果、野外彫刻展の会場は継続的にときわ公園彫刻の丘にすることとした。	取組予定なし
23	「UBEビエンナーレ」をより一層市民に親しみを感じてもらえるよう、入賞作家によるワークショップや作品展開催など、作家との連携を強化し、市民と作家との交流の場を創出します。	UBEビエンナーレ出品作家を彫刻教育の講師として依頼した。 ●見初小5・6年生(岡田健太郎) ●上宇部中3年生(久村卓) ●藤山中2年生(渡久地佑弥)	UBEビエンナーレ出品作家を彫刻教育の講師として依頼する。
24	アートによるまちづくり“発祥の地”としての歴史や彫刻の魅力の発信、UBEビエンナーレゆかりの作家とその作品に関する調査・研究及びアーカイブの充実など、内外に向けた情報発信を強化してビエンナーレの価値を高めます。	第30回展作品の情報を整理し、データベースに追加した。	本市が所蔵している彫刻関連の書籍を整理し、データベース化する。全ては完了していないので、引き続きデータベース化作業を継続する。
25	PRブースの設置や広報媒体への相互の情報掲載など、全国的に評価の高い他の芸術祭や文化施設等と連携を強化します。	瀬戸内国際芸術祭や大分アジア彫刻展との相互広報活動を実施した。	瀬戸内国際芸術祭との相互広報活動を実施する。

施策2-(2) 彫刻企画展等の開催

No	主な取組	2024年度 取組実績	2025年度 取組計画
26	柳原義達・向井良吉作品をはじめとする屋内コレクションを常設展示するとともに、市所蔵作品の定期的な企画展も開催し、市民がアートに触れる機会を創出します。	ときわ湖水ホールアートギャラリーで、柳原義達や向井良吉などのUBEビエンナーレを通じて築いてきた室内彫刻による展覧会を開催した。 ●10/18～12/15「彫刻世界 かたち・つくり・ひらく」	ときわ湖水ホールアートギャラリーで、UBEビエンナーレの草創期から発展期にかけてを関連作品や写真・資料で振り返る企画展を開催する。 ●10/10～3/1「Why? 彫刻 vol.2」
27	ものづくり体験のワークショップを対面だけでなく、オンライン配信による作家との交流など、ポストコロナ社会における「新たな日常」に対応しながら開催します。	彫刻教育において作家によるオンライン授業を実施した。	彫刻教育において作家によるオンライン授業を引き続き実施する。
28	貴重な市所蔵作品等を適切に保管していくために、収蔵庫等の環境整備を行います。	■文化会館の収蔵庫については、改修工事の中で整備している。 ■アートギャラリーの収蔵庫は、扉を改修した。	■文化会館の収蔵庫については、改修工事の中で整備していく。

施策 2-(3) 彫刻とアートの教育の推進

№	主な取組	2024年度 取組実績	2025年度 取組計画
29	自分たちの身近にある彫刻をそれぞれの心で楽しみながら、まちに対する誇りや郷土愛を醸成するとともに、アートを介して、観察力、思考力、他者を理解する心を育み、主体的で豊かなコミュニケーションを生む彫刻とアート教育の充実を図ります。	■UBEビエンナーレ彫刻の丘において、市内すべての小学校4年生を対象に野外彫刻鑑賞授業(子どもたち自身で彫刻を発見し、彫刻に触れることで生まれる感覚を言葉にして共有する鑑賞プログラム)を実施した。	引き続き、UBEビエンナーレ彫刻の丘において、市内すべての小学校4年生を対象に野外彫刻鑑賞授業を実施する。
30	小中学生を対象とした彫刻及び模型鑑賞授業や作家との交流によるワークショップ等の実施に加え、ポストコロナ社会における「新たな日常」に対応したICT教育の環境等を活用する彫刻教育を推進します。	■UBEビエンナーレ出品作家を彫刻教育の講師として依頼した。 ●見初小5・6年生(岡田健太郎) ●上宇部中3年生(久村卓) ●藤山中2年生(渡久地佑弥) ■児童・生徒が彫刻授業での感想やまとめをタブレットで行うとともに、作家交流授業を一部オンラインで実施した。	引き続き、タブレットやオンラインなどICTを活用した彫刻教育に取り組むとともに、UBEビエンナーレ作家によるアウトリーチ型彫刻授業を実施する。
31	地域や団体、大学等での講座開催など、多世代や様々な条件を持つ人たちにも対応しながら彫刻教育の普及促進を図り、生涯学習等にもつなげます。	■地区団体や障害者団体などに彫刻の出前講座を実施した。 ■山口大学(工学部/国際総合学部)、女子美術大学、金沢美術工芸大学、東京造形大学大学院で講義を実施した。	■各種団体等からの申込に応じて、彫刻関連の出前講座を実施する。 ■大学等からの依頼に応じて、講義、実習等を実施する。

施策 2-(4) 彫刻によるまちづくりの推進

№	主な取組	2024年度 取組実績	2025年度 取組計画
32	「緑と花と彫刻のまち」にふさわしい、環境との調和や景観にマッチした作品を選定するとともに、誰もが親しみやすく鑑賞できるような作品配置を行います。	■第29回展作品のときわ公園内での移設 ●「満-宇部の空気-」上田 要 ●「wind whisper」平山 悟 ■地区要望による彫刻の設置 ●「Inflating shadow」藤沢 恵(黒石公園) ●「風の灯台」ナカイテ タケヒコ(小羽山小学校) ■恩田スポーツパーク整備関連の移設 ●「ねじれた形'84」速水 史朗(敷地内移設) ●「母のひざ」山内 壮夫(真締川公園から) ■新庁舎整備関連の移設 ●「宇宙」濱野 邦昭	■ときわ公園内での移設 ●「Storage of celestial mechanics」ハンス ショール ●「はじまりのはじまり」三宅 之功 ■新庁舎整備関連の設置●移設 ●「Klangfeld 7」フロリアン クラール(新庁舎広場) ●「懸ける」向井 良吉(庁舎前広場)
33	彫刻を活かした質の高いまちづくりを推進するため、新庁舎周辺については、宇部市のまちづくりの歴史や特徴を表現できるようなストーリー性のある彫刻の再配置を行います。	■新庁舎整備関連の移設(再掲) ●「宇宙」濱野 邦昭	■新庁舎整備関連の設置・移設(再掲) ●「Klangfeld 7」フロリアン クラール(新庁舎広場) ●「懸ける」向井 良吉(庁舎前広場)
34	市民が安心して安全に野外彫刻作品を鑑賞できるよう、市内に設置されている約200点の作品を定期的に巡回点検し、メンテナンス等の維持管理を行いながら、居心地の良い魅力ある都市空間の形成を図ります。	■地区要望で移設した彫刻1作品の修復を実施した。 ■彫刻2作品の詳細調査を実施した。	■野外彫刻4作品について修復を予定している。

施策3 文化施設の整備・充実

施策3-(1) 渡辺翁記念会館・文化会館の整備等

№	主な取組	2024年度 取組実績	2025年度 取組計画
35	文化会館の耐震改修及び空調設備改修等の大規模修繕を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ■外壁・防水設備改修工事を施工した。 ■耐震改修・内部改修工事に着手した。 	■耐震改修・内部改修工事が令和8年3月に完了予定としている。
36	文化会館の大規模修繕に合わせて、施設・設備の長寿命化改修を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ■外壁・防水設備改修工事を施工した。 ■耐震改修・内部改修工事に着手した。 	■耐震改修・内部改修工事が令和8年3月に完了予定としている。
37	渡辺翁記念会館の耐震改修及び空調設備改修等の大規模修繕の検討を行うため、文化庁と協議しながら「保存活用計画」を策定します。	会議(検討委員会)を3回開催し、文化庁へ申請した。	秋ごろに文化庁から認定の予定となっている。
38	駐車場不足のため、民間の駐車場の活用やJR宇部線・市営バス等公共交通機関の利便性向上のため交通事業者等と連携したイベントを開催します。	■駐車場満車時に、周辺の民間駐車場の情報を提供した。	■駐車場満車時に、周辺の民間駐車場の情報を提供する。

施策4 文化財の保存・活用

施策4-(1) 文化財の保存・活用の推進

No	主な取組	2024年度 取組実績	2025年度 取組計画
39	文化財愛護活動を推進するため、文化財所有者及び文化財愛護団体を支援するとともに、文化財の周辺環境整備を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ■文化財管理者及び文化財愛護団体へ補助金を交付した(5団体)。 ■史跡等21カ所の環境整備を地域団体や郷土史研究団体等へ委託した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■文化財管理者及び文化財愛護団体へ補助金交付を予定している。 ■史跡等21カ所の環境整備を地域団体や郷土史研究団体等へ委託する。
40	地域団体や郷土史研究団体等と連携し、地域の大切な文化遺産として次世代へ継承するため各地域の未指定文化財の計画的調査と、文化財の指定・登録化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ■未指定文化財の調査と指定に向けた所有者の意向確認を実施した。 ■登録文化財の候補について、所有者の意見聴取と記録撮影を行った。 	指定・登録の候補となっている文化財について、本格的な調査や書類作成を実施し、2025年度中の諮問を目指す。
41	文化財の保存活用を目途とした広報活動を推進します。	市ウェブサイト内の「文化財ライブラリ」で指定・登録文化財の詳細な情報を公開することで、文化財に関する正しい知識が周知されるよう広報した。	「文化財ライブラリ」の内容に古いものがないか確認・更新することで、文化財に関する正しい知識が周知されるよう広報する。
42	本市の歴史や文化へのより一層の興味・関心を高め、貴重な地域資源である文化財史料の活用を図るため、市民団体との共同、連携により、文化財展等を開催し、文化財への愛着心を育成します。	北部地域の指定文化財を所有される方々と連携して企画展を開催した。その他、文化財防火デーの消防訓練を文化財所有者や地元住民の協力を受けて開催した。	市民との連携による企画展の開催を予定している。また、文化財防火デーの消防訓練を文化財所有者及び開催地域の地元住民等と協力して実施する予定としている。
43	「宇部市デジタルミュージアム」を周知するとともに、活用を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ■学校の授業などで「宇部市デジタルミュージアム」を紹介した。 ■年間を通して館内モニターで紹介動画を上映した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校の授業などでデジタルミュージアムを紹介する。 ■年間を通して館内モニターで紹介動画を上映する。
44	宇部南蛮音頭保存会との連携を強化し、南蛮音頭の普及と継承を進めます。	■南蛮音頭保存会と連携し、第73回宇部まつりに出演。普及に努めた。	宇部南蛮音頭保存会の構成団体である地方会、百扇会を支援し、宇部南蛮音頭を披露する機会を設け、普及に努める。

施策4-(2) 宇部市史の編さん

No	主な取組	2024年度 取組実績	2025年度 取組計画
45	現在、発行している宇部市史について、昭和61年（1986年）以降の本市の歴史を追補し、市史の編さんを行うとともに、市史のデジタル化に取り組まします。	市史編さん委員会を開催するとともに、時代毎に設置した専門部会を開催。編さんの方法や資料収集・調査等について検討した。	市史編さん委員会で進捗管理を行いながら、各専門部会での資料収集や調査研究等を進める。
46	デジタル化した市史を「宇部市デジタルミュージアム」に掲載し、後世への記録の継承及び掲載内容の検索や閲覧を容易に行えるようにします。	これまでの市史を補完する形で、市史のデジタル化を図るため、市史のコンテンツとして掲載する資料の調査を行い、画像や目録の整理を行った。	引き続き市史編さんの事業に協力して、デジタルコンテンツの素材となる市史掲載の資料調査を行っていく。
47	宇部市100年の歴史を振り返る絵本を作成し、幅広い世代に宇部市の歴史に親しんでもらうことにより、シビックプライドを醸成する教育を推進します。	子どもたちや幅広い世代が、宇部市の歴史に親しみ、理解を深め、楽しく読める絵本を完成（事業完了）	絵本を通して、子ども達が本市の歴史に興味を持ち、郷土学習の第一歩となることを目的に、小・中学校等に配布します。また、幅広い世代に、市の歴史を周知するため、市ウェブサイトで公開する。